

## ジュニアワールドカップメドリング大会報告書

派遣期間：2014年1月14日～1月20日

派遣場所：オーストリア・メドリング市

大会期間：2014年1月18日

大会会場：Sporthalle Modling

滞在先：Hotel Babenbergerhof

### チーム日程

- 1月14日 出発、チーム現地到着
- 1月15日 現地調整（9時～12時）
- 1月16日 現地調整（9時～12時）
- 1月17日 現地調整（9時～12時）
- 1月18日 大会
- 1月19日 現地出発
- 1月20日 帰国

### 参加者（選手）

- 松山恭助（東亜学園高校）
- 敷根崇裕（東亜学園高校）
- 西藤俊哉（帝京高校）
- 大石利樹（法政大学）
- 鈴木健太（はしまモア）
- 三好修平（早稲田大学）

### （コーチ）

- 青木雄介（FJE）

大会結果【個人戦】 27 カ国 115 名出場

最終順位

優勝 INGARGIOLA (ITA)

2位 LOSATELLI (ITA)

3位 松山恭助 (日本)

3位 CIUTI (ITA)

6位 西藤俊哉

10位 鈴木健太

13位 大石利樹

17位 敷根崇裕

69位 三好修平

個人戦予選プール

松山:6勝

敷根:6勝

西藤:5勝(6名プール)

大石:5勝1敗

鈴木:5勝1敗

三好:4勝2敗

T128

三好4-15 VEITENHEIMER(GER)

T64

松山15-7 SITOVS(LAT)

敷根15-5 GOMEZ(CAN)

西藤15-5 STIENHENSER(GER)

大石15-9 PFANN(NED)

鈴木15-13 DAL SANTO(ITA)

T32

松山 15-11 MACI(ITA)

敷根 8-15 KHAMZIN(RUS)

西藤 15-10BERTOLAZZI(ITA)

大石 15-4 REICHETZER(AUT)

鈴木 15-8 BIANCHI(ITA)

T16

松山 15-8 鈴木

西藤 15-9 大石

準々決勝

松山 15-10 KHAMZIN(RUS)

西藤 12-15 INGARGIOLA(ITA)

準決勝

松山 3-15 INGARGIOLA(ITA)

## 【大会報告】

14日に現地入りし、翌15日から3日間メドリングの総合スポーツ強化施設 Sudstadtzentrum にてオーストリアナショナルチームのメンバー等の選手達と調整を行った。

大会同日にフランスでシニアワールドカップが行われた為、ジュニアランキング1位選手や数名の選手がそちらに参加していたものの、27カ国（欧州各国から南米まで）115名の選手が出場した。

今シーズン3戦目にして、念願のメダルを獲得出来、今回の日本選手の活躍には満足している。

来月のワールドカップ最終戦、その後の世界選手権大会に向けて一層の強化を図っていきたい。

文責 男子フルーレコーチ 青木雄介



個人戦 3位に入賞した松山恭助



地元オーストリア選手との練習